

THE BROOKLYN DAC+

DAC • HEADPHONE AMP • PREAMP



MYTEK

Owner's Manual

日本語ユーザーマニュアル



DSD
Direct Stream Digital
256



MQA

DXD
Digital eXtreme Definition

VINYL

ユーザーマニュアル Ver. 1.1 / 2018年6月

© Mytek 2018

Brooklyn DAC+のファームウェアはMytek USBコントロールパネル・アプリで簡単にアップデートが行えます。ファームウェアが更新されると、Mytekウェブサイトのsupport/downloadに更新ファームウェアが掲載されます。ファームウェア更新によりMytek製品の動作の詳細が変更されることがあり、これに伴い本マニュアルも定期的に更新されます。

ニュース、ドライバーのアップデート、テクニカルサポート、ヒント、その他の製品情報については、以下のウェブサイトをご覧ください：

<https://www.mytekdigital.jp>

技術サポートが必要な場合、上記ウェブサイトのお問い合わせフォームからご連絡ください。その際はBrooklyn DAC+が接続されている機器と接続方法、お使いのOS、アプリケーションなど、使用環境の情報を必ずお書き添えください。

MYTEK

148 India St.
Brooklyn, NY
11222

tel. +1 (347) 384-2687

Brooklyn DAC+を設置して使用する前に、本マニュアルに記載されているすべての情報を必ずご一読ください。

内容

1. はじめに.....	5
2. 同梱されているもの.....	6
3. Brooklyn DACからの変更点.....	6
4. 主な特長.....	7
5. クイックスタート.....	8
5.1 フロントパネル.....	8
5.2 リアパネル.....	9
6. Windowsへのインストールと設定.....	10
6.1 Windows - USB Audio Class 2ドライバーのインストール.....	10
6.2 Windows - Mytekコントロールパネルのインストール.....	12
6.3 Windows - Brooklyn DAC+を標準の再生デバイスとして指定する.....	13
7. Macへのインストールと設定.....	14
7.1 OSX - USB Audio Class 2ドライバーのインストール.....	14
7.2 OSX - Mytek Control Panelのインストール.....	14
8. WindowsおよびOS Xでのファームウェア更新.....	15
9. メニュー画面.....	16
9.1 操作方法.....	16
9.2 設定.....	17
10. MQA - Master Quality Authenticated.....	22
11. リモコン.....	23
11.1 Apple IRリモコンの設定.....	23

11.2	標準タイプ (RC5) のリモコンの設定.....	23
12.	仕様	24
13.	製品の保証	25
	安全に関する重要なお知らせ	26
	警告.....	27
	家庭での電気及び 電子機器の廃棄物の処分に関する情報	27

1. はじめに

Mytek DigitalのBrooklyn DAC+をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。また、Mytek ユーザーのコミュニティへようこそ。

20年以上に渡り、マスタリンググレードのコンバーターやその他オーディオ機器を開発製造してきた経験が、このデジタル/アナログコンバーターに活用されています。その洗練されたオーディオ回路設計によって、「ビットパーフェクト」かつ音質に優れ色付けのない無色透明なサウンドを、スピーカーとヘッドホンで実現します。

Brooklyn DAC+の特長は以下のとおりです

- 最高32 bit / 384 kHzまでのPCM
- DSD64(2.8MHz)、DSD128(5.6MHz)、DSD256(11.2MHz)
- MQA マスタークオリティ・ファイルの再生
- MC/MM対応高精度フォノイコライザー内蔵
- USB、Toslink（光デジタル端子）、SPDIF（同軸デジタル端子）、AES/EBU端子を持つその他のデジタルソース機器
- アナログ入力に接続されたその他アナログソース機器

Brooklyn DAC+は、Windows、Mac OS、およびLinuxで最高のパフォーマンスが得られるように最適化されています。新開発のMytek Hi-Speed USB（USB 2.0）Audio Class 2対応 32ビット/384kHz整数型インターフェースによって、Brooklyn DAC+は低遅延かつ非常に高い動作安定性を実現しています。MytekはThesycon.com社開発によるWASAPIとASIO（DSDネイティブ再生）の両方に対応するWindows用（Win10まで）32ビットドライバーを提供します。Mac OSXおよびLinuxコンピューター、Linuxオーディオストリーミングデバイスの場合、ドライバーは必要ありません。

お客様のお幸せをお祈り申し上げます。
Mytek Digital チーム一同

2. 同梱されているもの

- Brooklyn DAC+本体（シルバー／ブラック）
- USB 2.0 ケーブル
- 専用電源コード
- 2pin-3pin変換電源アダプター
- Apple製IRリモコン
- ユーザーマニュアル（本紙）
- 保証書



3. Brooklyn DAC+からの変更点

Brooklyn DAC+は、ヘッドホンやスピーカーを用いたクリティカルなリスニングに耐えうるデジタルソースおよびアナログレコードの高品位な再生機能を持つ製品です。内蔵された機能は全てプレミアムグレードといっても過言ではなく、フォノプリアンプとヘッドホンアンプはともに最高品質の専用機に匹敵します。Brooklyn DAC+は、前モデルBrooklyn DACと比較して次のような面が改良されています。

- ESS Technology社のハイエンドDACチップ「ES9028PRO」を採用し、多彩なデジタルフィルターを搭載
- より高グレードで、トランスペアレンシーに優れ（色付けの少ない）、低ノイズなアナログアッテネータ回路を搭載
- アナログ入力パフォーマンスの向上とフォノステージのトランスペアレンシーの向上
- 高精度アナログボリューム回路とバランス駆動ヘッドホンアンプの音質向上（情報量と分解能の向上）
- アナログ信号経路をデュアルモノラル構成に変更

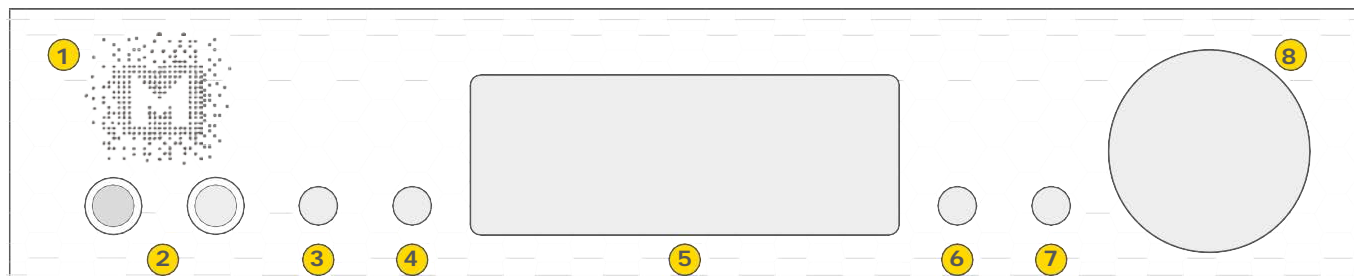
トリガーコントロール機能は、Brooklyn DAC+を容易にその他のオーディオ機器と統合することを可能にします。

4. 主な特長

- D/A変換：384kHz/32bit (DXD) までのPCM、DSD256 (ネイティブ再生時) までのDSD
- ダイナミックレンジ：130dB
- アナログ出力：XLRバランス1系統、RCAアンバランス1系統 (同時出力)
- ヘッドホン出力：低能率ヘッドホンの駆動も可能な、リファレンスグレードのハイカレント・高速応答型バランス駆動対応ヘッドホンアンプ部 (500mA、6W)、TRSヘッドホン端子2系統搭載
- 内蔵アッテネーター：ライン出力とヘッドホン出力とで別個に調整が可能な1dBステップのアナログアッテネーター と1dBステップの32ビットデジタルボリュームを選択可能
- リレーによるボリューム機能のバイパス機能を搭載
- AES / EBU入力：1系統 (PCM：最高24bit/192kHz、DSD：DSD64 DoP)
- S/PDIF同軸デジタル入力：2系統 (PCM：最高24bit/192kHz、DSD：DSD64 DoP)
- TOSLINK光デジタル入力：1系統 (PCM：最高24bit/192kHz、DSD：DSD64 DoP)
- SDIF3 入力：DSD64、DSD128、DSD256 (ネイティブ入力のみ対応)
- Mytek独自のUSB Audio Class 2.0対応USB2.0端子：32bit/384kHzまでのPCMおよびDSD256までのDSDのネイティブ再生に対応するほか、AES、同軸デジタル、光デジタルの各入力にも対応。そのほか、Mytek製DAC複数台を使用してのマルチチャンネル再生にも対応
- 内部ジッター0.82psのMytek Femtoclockサーキット。マルチチャンネルDSDを含む、マルチチャンネル動作のためのワードクロック入出力を搭載
- 内蔵アナログプリアンプ：ラインレベル入力のほか、高精度フォノアンプ (MM、MC両対応) を搭載し、リレー方式により切り替えが可能
- MQAハイレゾデコーダー：認証取得済みハードウェアMQA®デコーダー内蔵 (コアデコーダー&レンダラー)
- 高精度RMSメーター、ピークメーターを搭載し、同時表示が可能
- 本製品を容易にその他のオーディオ機器と統合することを可能にするトリガーコントロール機能

5. クイックスタート

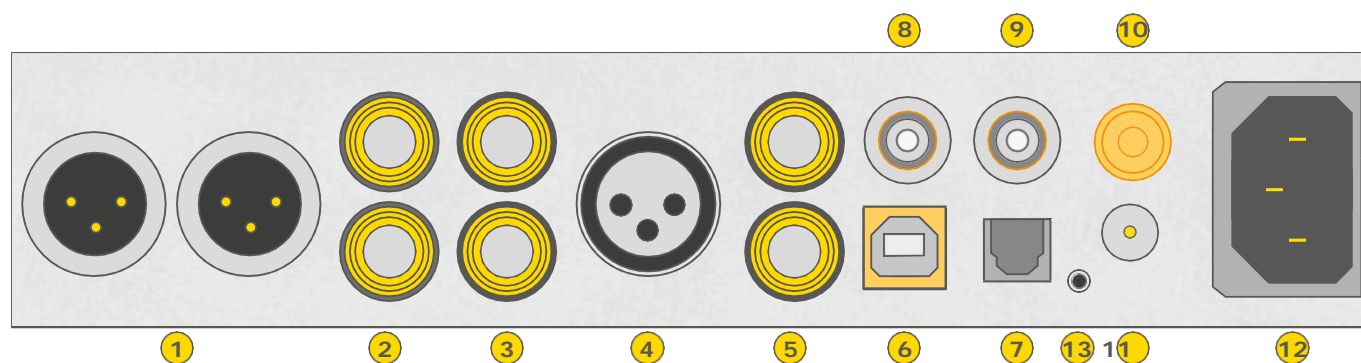
5.1 フロントパネル



1. Mytekロゴ；バックライトの色と明るさを調整できます
2. ヘッドホン出力端子；デュアルモノ及びバランス駆動モードで動作するヘッドホン出力端子です。[500mA、6W] 左ジャックは正相で、右ジャックは逆相でそれぞれヘッドホンに接続することができます。別売の2x 1/4ジャック - 4 pin XLRケーブルを用いることで、1つのヘッドホンをバランス駆動することができます
3. 機能ボタン；オプションを素早く選択したり、デバイスの設定を変更したり、設定したりすることが出来ます
4. 機能ボタン；オプションを素早く選択したり、デバイスの設定を変更したり、設定したりすることが出来ます
5. OLEDディスプレイ
6. 機能ボタン；オプションを素早く選択したり、デバイスの設定を変更したり、設定したりすることが出来ます
7. 機能ボタン；オプションを素早く選択したり、デバイスの設定を変更したり、設定したりすることが出来ます
8. ローターリーエンコーダーノブ；このエンコーダーはノブとボタンの両方を兼ねています。主な機能はボリュームをコントロールすることです。また、デバイスのオプションを設定するためのメニューナビゲーションとしても機能します

ノブを長押しすると 本製品の電源がオン/オフされます。

5.2 リアパネル



1. XLRバランス方式ステレオアナログ出力
2. RCA方式ステレオアナログ出力
3. RCA方式ステレオアナログ入力
4. AES/EBU入力；最大192kHz/24bitのデジタル入力が可能です。DSD64までのDSD DoP入力も可能です。この入力は、USB2.0接続を介してコンピューターにデジタルオーディオを送信するためにも使用できます
5. S/PDIF同軸出力1及びS/PDIF同軸入力2；これらは192kHz/24bitまでのデジタル入力が可能です。また、DSD64までのDSD DoP入力も可能です。最良の結果を得るには高品質の75ΩデジタルRCAケーブルをご使用ください

注記：これらの2つの入力は、プロフェッショナルなDSD録音機器（TASCAMマスターレコーダーなど）で使用するために2つのBNC -> RCAアダプターを備えたステレオSDIF2/3 DSD入力としても機能します。

6. Mytek独自のUSB Audio Class 2.0対応USB 2.0端子；最大で384kHz/32bitのPCM及びDSD256まで対応し、AES、SPDIF、およびTOSLINKからの信号も受け付けます。また、このUSBインターフェースを使用することで、複数のMytek製品をマルチチャンネルで動作させることができます
7. 光入力(Toslink / ADAT)；最大192kHz/24bitのデジタル入力が可能です。DSD64までのDoP標準入力も可能です。この入力は、USB2.0接続を介してコンピューターにデジタルオーディオ信号を送信するためにも使用することができます。最良の結果を得るには、短い高品質なTOSLINKケーブルを使用して下さい。ガラスファイバー製のTOSLINKケーブルであれば、通常のプラスチックファイバー製ケーブルよりも低ジッターかつ長時間の使用に耐えるでしょう
8. ワードクロックBNC入力；プロフェッショナル向けのクロックディストリビューターを用いることで、クロックの分配や複数ユニットの同期、DSDリファレンスクロックを使用できます。通常は内部クロックを使用することをお勧めします。これは内蔵されているMytek FemtoClockが一般的に外部から接続されるクロックソースよりも遥かに優れる(ジッター値 1ps未満)ためです
9. ワードクロックBNC出力；業務用で192kHzおよびDSDリファレンスクロックの分配をするために使用されます。0.82psの内部ジッターを誇る“Mytek FemtoClock Generator (tm)”をワードクロック入力と出力で利用することができます（マルチチャンネルDSDを含む各種マルチチャンネル動作のために複数台での動作も可能です）

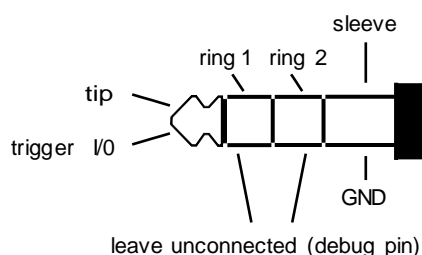
10. フォノ用グラウンド端子

11. オプションの外部DC/バッテリー電源用入力（12VDC）：大きな外付けバッテリーまたは大きな電源を使用すると、音質向上する場合があります

12. 内蔵電源は100V AC から 240V ACの範囲で動作します

13. トリガーI/Oコネクタ：本製品は、一般的なトリガーHiFiコントロールシステムと完全に互換性があります。入力として動作する場合、3.3V～24Vの電圧範囲が受け付けられます。出力として動作する場合、12Vを供給します。このコネクタは、3.5mm・4極（tip、ring 1、ring 2、sleeve）のジャックプラグのみと互換性があります

4 pole plug diagram



クイックスタート - AES/EBU、SPDIF及びToslinkでの再生

パワードスピーカー、パワーアンプ、またはプリアンプにアナログ出力を接続します。ヘッドホンを使用することも可能です。デジタルソース（CDプレーヤー）をDACに接続します。プレーヤー、本製品、パワーアンプの電源を入れます。電源投入時は、Mytek Digital社のエンジニアチームによって最適な音質状態となるデフォルト設定値が選択された状態となっていますので、あとは使用する入力を選択します。

ご注意！：お使いの機材にダメージを与えないために、全ての接続が完了するまでアンプやパワードスピーカーの電源を入れないでください。

6. Windowsへのインストールと設定

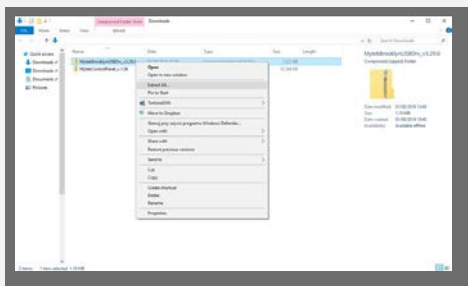
- アンプの電源を切り、本製品のアナログ出力を後段の機器（例：アンプ）のアナログ入力に接続します。XLRバランス出力端子は業務用オーディオ機器との接続に、RCAアンバランス出力は民生用オーディオ機器との接続に用いるのが一般的です
- 本機を正しく使用するために、USB Audio Class 2ドライバーをインストールする必要があります。Mytekコントロールパネル・アプリは後でインストールしても構いません。ドライバーとMytek コントロールパネルはそれぞれ個別のインストールプログラムになります

6.1 Windows - USB Audio Class 2ドライバーのインストール

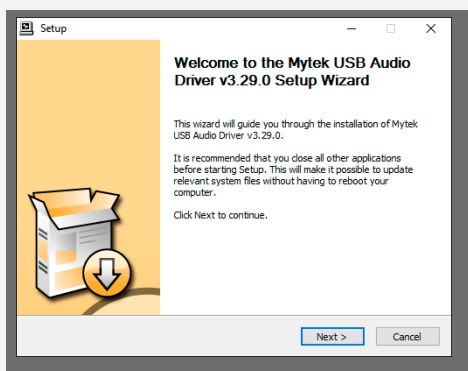
MYTEK

インストールを簡潔に行うために、本機をコンピューターに接続する前にドライバーをインストールすることを推奨します。最新のドライバーは mytekdigital.com または mytekdigital.jp から入手してください。

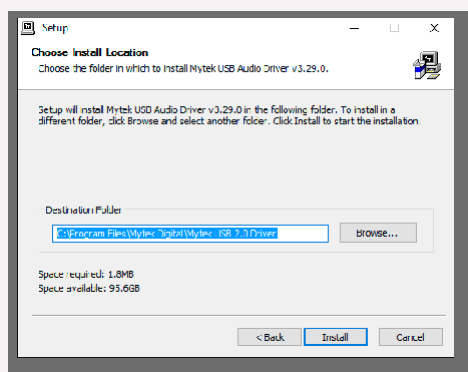
1. MytekUSB2Drv.v4.xx.x.zip ファイルを探し、zip アーカイブを右クリックして「ここに展開」を選択して、アーカイブの内容を展開します。



2. MytekUSB2Drv.v4.xx.x.exe ファイルをダブルクリックすると、インストールが自動的に開始します
3. Setup.exe が起動したら「Next」をクリックします。

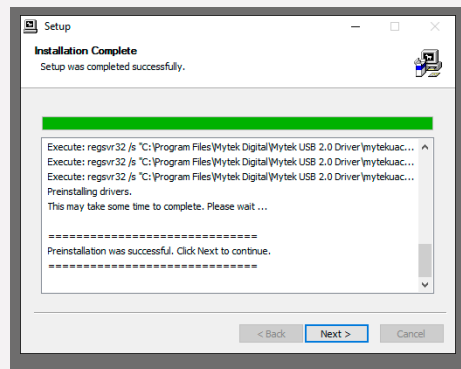


4. インストール先を選択します。デフォルトの場所は「C : ¥Program Files¥Mytek Digital¥Mytek USB 2.0」です。このままにしておくことをお勧めします。インストール先を変更する場合は、「browse...」を選択して場所をカスタマイズしてください。「Install」をクリックします。

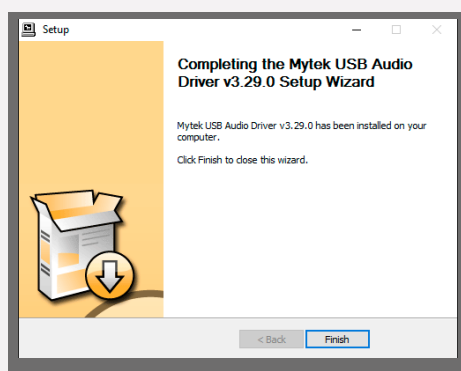


5. Setup.exe は Mytek ドライバーをインストールします。この処理が完了するまで数分掛かります。

6. Setup.exe が終了したら、「Next」をクリックします。



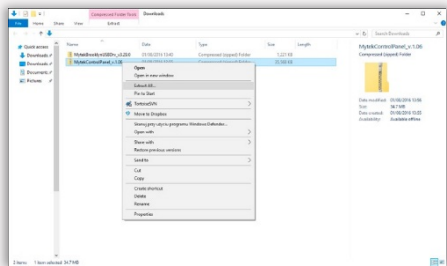
7. 「Finish」をクリックして、次に「Yes」をクリックするとインストールが終了します。次のステップで本機をコンピューターに接続します。



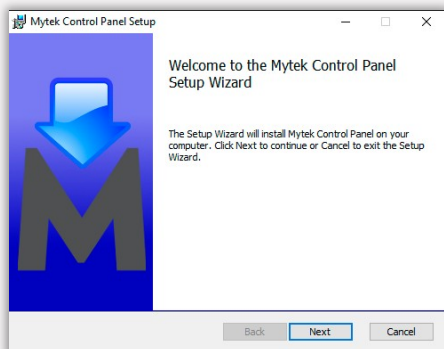
8. 本製品をご使用のコンピューターの USB ポートに接続します。
9. Mytek コントロールパネルを起動し（すでにインストール済みの場合）、ドライバーのインストールを確認します。Mytek コントロールパネルがデバイスを表示し、全ての選択項目にアクセスを許可していれば、ドライバーのインストールに成功しています。

6.2 Windows - Mytekコントロールパネルのインストール

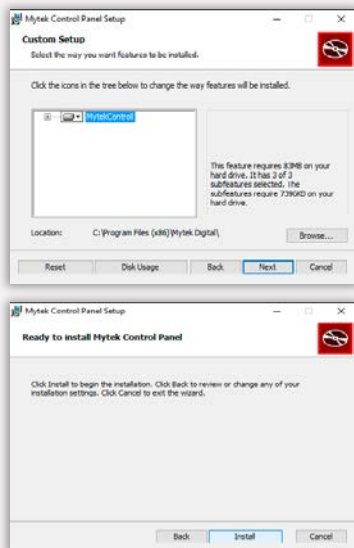
1. MytekControl.zipファイルを探し、zipアーカイブを右クリックして「ここに展開」を選択して、アーカイブの内容を展開します。



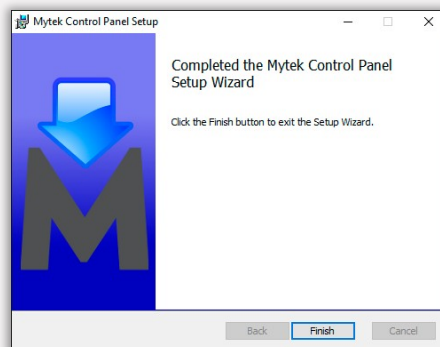
2. WindowsインストールパッケージファイルをダブルクリックしてMytekコントロールパネルをインストールします。MytekControl セットアップウィザードが起動したら「Next」をクリックし、ライセンス内容に同意して、もう一度「Next」をクリックします。



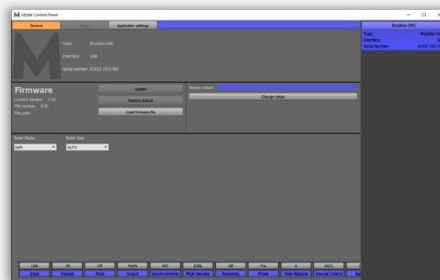
3. 全ての選択項目は「Custom Setup」メニュー内で選択します。「Will be installed on local hard drive」を選択し、それぞれの項目のインストールを確認してから、「Next」、さらに「Install」をクリックし、インストールを開始します。



4. 「Finish」をクリックして、インストールを完了します。

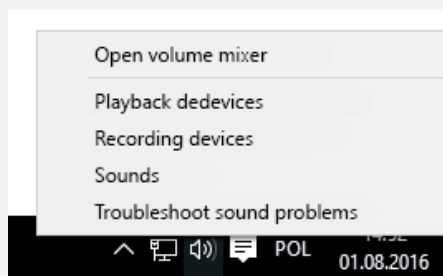


5. Mytekコントロールアプリを起動して、インストールできているか確認します。Mytekコントロールアプリが本製品をシリアルナンバー付きで表示し、全ての項目に対してアクセスできていれば、インストールは成功しています。

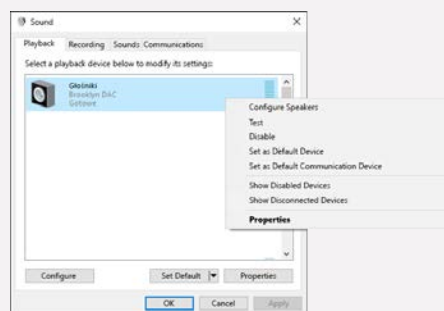


6.3 Windows – Brooklyn DAC+を標準の再生デバイスとして指定する

1. 画面右下の通知エリアのスピーカーアイコンを見つけ、右クリックをして、本製品を標準のWindows再生デバイスに設定します。コンテキストメニューから「再生デバイス」を選択します。



- 2 「Speakers Brooklyn DAC+」を右クリックし、「既定のデバイスとして設定」を選択します。



ご注意！ ASIOドライバーを使用する業務用オーディオ（DAW）アプリケーション（例：Cubase、Samplitude、Reaperなど）や特定のメディアプレーヤー（Jriverなど）は、異なる方法で設定を行う必要があります。特定のメディアプレーヤーの設定方法は mytekdigital.com または mytekdigital.jp のサポートページをご覧ください。

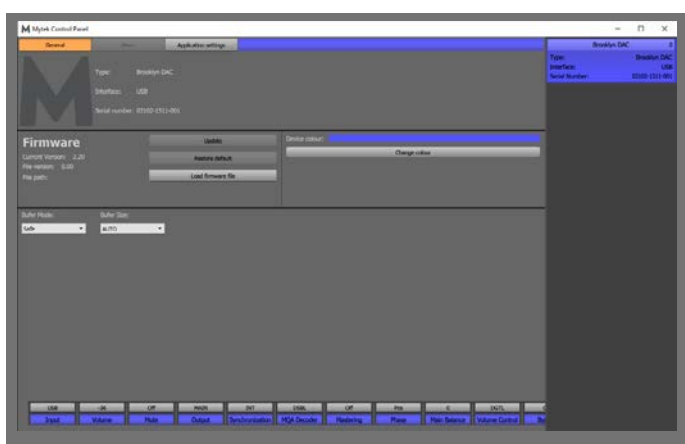
7. Macへのインストールと設定

7.1 OSX - USB Audio Class 2ドライバーのインストール

本製品に搭載されている専用設計のUSB2.0コントローラーは、ドライバー無し（プラグ・アンド・プレイ）でMacでの使用が可能です。本製品名がMacのシステム環境設定内にあるサウンドの項目内に自動的に表示されますので、「サウンドを出力する装置を選択」の項目内で本製品を選択してください。

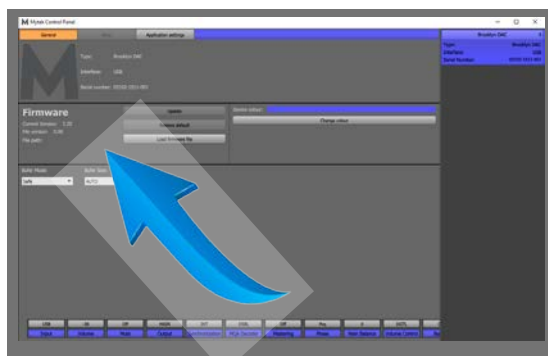
7.2 OSX - Mytek Control Panelのインストール.

Mytek Control Panelをインストールするには、MytekControlPanel_v.1.xx.dmgファイルにあるMytekアプリケーションファイルを「Applications」システムフォルダーにドラッグ&ドロップします。最新のMytek Control Panelアプリケーションの最新版は弊社ウェブサイトのリンクからダウンロードしてください。



8. WindowsおよびOS Xでのファームウェア更新

本製品のファームウェアの現在のバージョンはMytekコントロールパネルの「General」タブから確認することができます。



- ファームウェアは、USB2.0ポートとMytekコントロールパネル・アプリケーションを使用してアップデートすることができます。これにはUSB2.0ドライバー（Windows PCの場合）とMytekコントロール・アプリケーションが事前にインストールされている必要があります。mytekdigital.comまたはmytekdigital.jpにアクセスして、最新のドライバーとファームウェアをダウンロードしてください
- ファームウェアの更新を始める前に、接続しているパワードスピーカーやパワーアンプの電源を切ることをお勧めします

以下のステップに従って、ファームウェア更新を行ってください。

1. mytekdigital.com またはmytekdigital.jpから最新のファームウェアファイル(*.mfb) をダウンロードします
2. 「Load firmware file」 ボタンをクリックし、新しいファームウェアをブラウズし、次に「Open」 をクリックします
3. 「Update」 ボタンを押して、本機のメモリーにファームウェアをアップロードします
4. ダイアログボックスが表示されたら、「Yes」 をクリックし、選択を確定します。プログレスバーが現れ、フラッシュメモリーへの書き込み完了までどのくらい掛かるかを表示します
5. 更新が完了すると、本製品はリセットを行い、スリープモードに入ります。ロータリーノブを1回押して電源を入れます。本製品が再起動し、ファームウェア更新が完了します。コンピューターをリポートする必要はありません

ファームウェア更新が失敗する時は、以下の手順に従ってください。

1. 電源ケーブルを抜きます
2. フロントパネルの一番左にあるボタンを押しながら電源コードを接続します
3. 本製品はブートローダーモードで起動し、MYTEKロゴが白色になり、点滅を繰り返します
4. 更新作業を再度行ってください

9. メニュー画面

9.1 操作方法

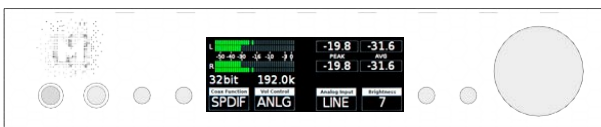
本製品に搭載されている前面パネルの4つのボタン、ボリュームノブ、および高解像度ディスプレイを使用することで、本製品の設定をすばやく変更することができます。ディスプレイの下部には常に4つのパラメータが表示されます。



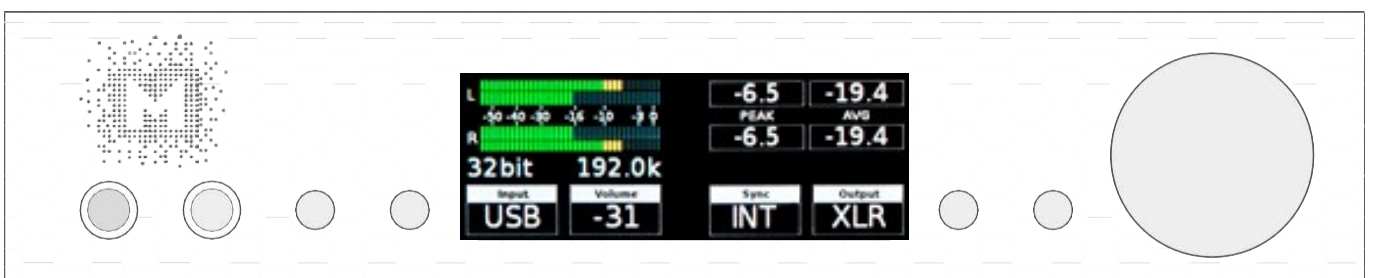
ディスプレイに表示されている4つのパラメータメニューに入るには、LCDディスプレイの左右にある4つのボタンのうちの1つを押してください。変更するパラメーターの値が青色に変化します。値を変更するには、必要なオプション/値が表示されるまでボリュームノブを回してください。もう一度ボリュームノブを押すとメニューを終了することができます。



ボリュームノブを回すことで、使用可能な全てのパラメータを表示することができます。



ボリュームノブを1度押すことでスクリーンセーバーが起動します。



ボリュームノブを押し込んだ状態にすることで、本製品の電源のオン/オフが可能です。

MYTEK

9.2 設定

9.2.1 Input

- **USB2** - 384kHz/32bitまでのPCMとDSD256までのDSD再生が可能なUSB Audio Class 2.0に対応したハイスピード対応で専用設計されたUSB入力です。高速で信頼性の高いWindowsドライバーが提供されています。MacとLinuxでは専用のドライバー無しで動作します。
- **AES** - 最大192kHz/24bitまでのPCMデータとDSD64 (DoP) を受信できるデジタル入力です。この入力は、USB2.0を介してデジタル信号をコンピュータ (DAW) に録音する用途でも使用することができます。
- **SPDIF1 & SPDIF1 (S/PDIF1&2)** - 最大192kHz/24bitまでのPCMデータとDSD64 (DoP) を受信できる同軸S / PDIF入力です。この入力は、USB2.0接続を介してコンピュータにデジタル信号 (DAW、サウンドエディタ) を録音するためにも使用することができます。
- **SDIF L-R** - DSDフォーマットを受信できるプロフェッショナルなDSD入力 (最大DSD256) です。
- **OPTO (Toslink)** - 最大192kHz/24bitまでのPCMデータとDSD64((DoP) を受信できる光S / PDIF入力です。録音ソフトウェアのデジタル入力の別入力としても使用することができます。
- **ANLG (Analog)** - RCAアナログ入力。ラインレベルまたはフォノ・プリアンプ (MM/MC) の場合は、ボリューム・コントロールをバイパスすることが可能です。

9.2.2 Volume - 現在の音量を表示します。

9.2.3 Mute - 全ての音声出力を消音します。

9.2.4 Output

- **HP** - ヘッドホン出力のみ有効になります
- **MAIN** - ライン出力 (XLR・RCA) のみ有効になります
- **BOTH** - ヘッドホン出力とライン出力 (XLR・RCA) の両方が同時に有効になります
- **AUTO** - 本製品にヘッドホンが接続されたことを検知すると、MAINへの出力がミュートされます

9.2.5 Sync

デジタルの世界では常に1つのハードウェアがマスターとなり、他はスレーブとして動作する必要があります。そのため、CDプレーヤー、デジタルレコーダーなどの外部デジタル機器もこれらの関係を適切に設定する必要があり、誤った設定がなされた場合、ノイズや歪みが信号に生じることがあります。これらの問題を解決するために、本製品では以下の同期オプションが利用できます。

- **INT (Internal)** / **USB** / 入力された信号は、本製品の超低ジッター内部水晶発振器に同期されます。これにより、最高のDAC性能が保証されます。内蔵の水晶発振器はDACチップセットに近接しているため、一般に外部から供給されるクロックより優れています。この場合、DACはマスターとして動作します。Word Clock OUTはマスタークロック信号を出力します
- **WCK (Word Clock)** / **USB**、**AES**、**SPDIF1&2**、**Toslink**、**SPDIF** にて使用することができます。こ

の場合、本製品はスレーブとして動作します

本製品がマスターで、他の製品がスレーブの場合は、本製品のWCK OUTと他の製品のWCK INを接続してください。
本製品がスレーブで、他の製品がマスターの場合は、本製品のWCK INと他の製品のWCK OUTを接続してください。

- **IN** (Input) / AES、SPDIF1&2、Toslinkで有効です。本製品はスレーブとして動作します
- **44.1 - 192 kHz** (Internal) / AES、SPDIF1&2、Toslinkで有効です。本製品はマスターとして動作し、本製品のWordClock Outからクロック信号を出力します
- **x64 - x256** (Internal) / SPDIFで有効です。本製品はマスターとして動作します

9.2.6 SDIF Rate - SDIF入力を使用し、DSD信号が入力された際のレートです

9.2.7 MQA Decoder

- **ENBL** (Enabled) - MQAデコーダー機能が有効になります。デジタルフィルターはminimum phaseフィルターで固定されます
- **DSBL** (Disabled) - MQAデコーダー機能が無効になります。Masteringメニューを有効にするには、MQAデコーダー機能をオフにしてください

9.2.8 Mastering - 音楽制作環境向けの追加機能です。MQAデコーダー機能がオフの場合にのみ使用できます

- **Off** - 標準はオフになっています。通常のスtereo信号を出力します
- **Mono** - 左右のチャンネルを合成し、モノラル信号を作ります
- **L-R** - Stereo信号の差分を合成します。モノラル信号を取り除きます
- **MS** - Mono (L + R) とL-Rの組み合わせで、ミッド信号はLとR (モノラル) の和であり、サイド信号はL-RオペレーションからのStereo情報です

9.2.9 Phase - 位相切り替え

- **Pos** (Positive) - 正相です
- **Neg** (Negative) - 位相が反転されます (逆相)

9.2.10 Main Balance - 左右の音量のバランスをコントロールします

9.2.11 Theater Byp (ON/OFF) - アナログ入力端子から入力された信号をアナログ出力端子から同じ音量レベルで出力します

9.2.12 Vol Control

- **ANLG** (Analog) - 音声出力の音量をアナログアッテネーターで調整します
- **DGTL** (Digital) - 音声出力の音量を超高精細なデジタルアッテネーターでコントロールします

9.2.13 Bypass

すべてのアッテネーター回路をバイパスし、可能な限り最もクリーンな音声出力が得られます。本機能はライン出力のみに対して有効で、ヘッドホン出力はこの設定にかかわらずアナログアッテネーターでの音量調整が可能です。

ご注意! : 本製品のバイパスモードを有効にする際は、プリアンプの出力レベルが下がっていることをご確認ください。スピーカーが損傷する恐れがあります。

9.2.14 Trim / Gain

デジタル入力毎に出力の抵抗値を調整できます

- デジタルボリュームでは、-12から0dbの間で調整が可能です
- アナログボリュームでは、-12から+12dbの間で調整が可能です

9.2.15 USB Volume [HID]

このオプションを有効にすると、本製品からの出力レベルを本製品に接続されたOSのボリュームフェーダー機能で調整できます。フェーダーを表示するには、Windowsのタスクバーに表示されている小さなスピーカーアイコンをクリックします。アイコンが表示されていない場合は、システム設定の「通知と操作」（Windows10の場合）にアクセスして有効にしてください。

ご注意！ AES、SPDIFコアキシャルまたはSPDIFオプティカル入力を使用され、本製品がUSBポート経由でコンピューターに接続されている場合は、USBボリュームオプションを無効にする必要があります。本オプションが有効な場合、スピーカーを損傷する可能性があります。

- **DSBL (default)** - 本製品前面のMytekコントロールパネルまたはボリュームノブを使用して音量を調整します。この設定は、AES、SPDIFコアキシャル、SPDIFオプティカル入力を使用されており、本製品がコンピューターに接続されている状態の推奨設定です
- **dB** - OSXまたはLinuxの推奨設定です。Mytekコントロールパネル、ボリュームノブまたはメインシステムフェーダーを使用して音量を調整します
- **Win** - Windows推奨の設定です。Mytekコントロールパネル、ボリュームノブまたはメインシステムフェーダーを使用して音量をコントロールします

9.2.16 Analog Input

(アナログ入力モード) 全てのデジタル入力に加え、1つのアンバランスアナログ入力を選択することができます。他の入力と同様に、アナログのステップアッテネーターを経由して、メイン出力とヘッドホン出力の両方で音声出力が可能です。次の3つのモードのいずれかを選択できます。

- **LINE** - ラインレベル入力
- **P MM** - フォノプリアンプ (ムービング・マグネット型)
- **P MC** - フォノプリアンプ (ムービング・コイル型)

9.2.17 Coax Function

RCA同軸デジタルオーディオ端子は2つのモードに対応しています。

- **SPDIF** - S/PDIFモード
- **SDIF** - SDIFモード：この接続の場合、RCA 端子からBNC端子への変換アダプターが別途必要です

9.2.18 PCM Filt Shpe (PCM Filter Shape) - デジタルフィルターの設定

- **FRMP** - 急峻な遮断特性をもつ最小位相フィルター
- **SRMP** - 緩やかな遮断特性をもつ最小位相フィルター

- FRLP - 急峻な遮断特性をもつ線形位相フィルター
- SRLP - 緩やかな遮断特性をもつ線形位相フィルター
- APDZ - 急峻な遮断特性を持つ線形位相のアポダイジングフィルター
- HBRD - 急峻な遮断特性を持つ最小位相のハイブリッドフィルター
- BRCK - ブリックウォールフィルター

ご注意！： MQA再生機能を有効にしている場合には、デジタルフィルターは強制的に最小位相フィルターに固定され上記の設定は無効となります

9.2.19 DSD Filt BW (DSD用ローパスフィルターの帯域幅設定)

- AUTO - DSD音源に収録されている周波数に応じて自動的にフィルターが選択されます。例：DSD64の場合はLO、DSD128の場合はMED、DSD256の場合はHI。通常の使用においては本モードを選択することを強くお勧めします。
- LO - カットオフ周波数47.44 kHzのIIRフィルターが適応されます
- MED - カットオフ周波数60kHzのIIRフィルターが適応されます
- HI - カットオフ周波数70kHzのIIRフィルターが適応されます

9.2.20 Disp Auto Off (ディスプレイの自動消灯) - ディスプレイが消えるまでの時間を設定します。ディスプレイが消灯している間でも音楽の試聴が可能です。ディスプレイを再び点灯するには、ボリュームノブを含め、フロントパネルに設置されているボタンのいずれかを押してください。

9.2.21 Display Bright - ディスプレイの輝度を調整します

9.2.22 Auto Return - デフォルト画面への復帰時間を調整します

9.2.23 Diode Bright - 16ステップでMytekロゴの輝度を調整します

9.2.24 St-by D Bright - スタンバイモード時のMytekロゴの輝度を調整します

9.2.25 Colour - 16パターンからMytekロゴの色を調整します

9.2.26 Power On - (ACコードが本製品に接続されたときの動作設定)

- WORK - 自動的に電源がオンになります
- STBY - スリープモードになります
- AUTO - 最後の設定に従います

9.2.27 Remote (リモコン設定)

- OFF - リモコンをしません
- RC5 - RC5規格に準拠したリモコン信号を受信し、動作します
- NEC (Apple) - バンドルされているアップル社のIRリモコン規格に準拠したリモコン信号を受信し、動作します

9.2.28 Remote Addr (リモートアドレス設定)

「Remote」機能が有効になっている場合に利用可能です。リモコンのボタンを押すと本製品が自動でリモコン信号の規格を検知して設定します。

9.2.29 Device (デバイス設定)

- INFO - ファームウェアのバージョンを表示します
- RESTORE - 本製品を工場初期出荷状態に戻します

ご注意！： 上記すべての設定はMytekコントロールパネルからも設定が可能です。

10. MQA - Master Quality Authenticated



MQAは、オリジナルであるスタジオ品質のパフォーマンスを記録するためのテクノロジーです。先進的な科学研究を通じて、人間が音声をどのように聞いているのかという研究結果に基づいて、MQAはマスター品質のオーディオ信号をストリームまたはダウンロードするのに適した十分小さいサイズのファイルに圧縮します。利便性のために品質を犠牲にした時代は終わりです。詳細は、mqa.co.ukをご覧ください。

本製品はMQAのフルデコードに対応する製品です。オリジナルマスターレコーディングの音質をファイル再生やストリーミング再生でもお届けします。

認証の表示

本製品は、MQAロゴの横にある小さな円の色によって、MQAストリームが検出されたかどうかを表示します。

この円は、本製品がMQAストリームまたはMAQファイルをデコードおよび再生している場合には、緑色または青色に点灯し、音源がソース音源と同一であることを保証します。

また、アーティスト/プロデューサーによってスタジオで承認されたMQAスタジオファイル、または著作権所有者によって確認されたMQAスタジオファイルを再生している場合には、青色に点灯します。

11. リモコン

本製品は赤外線リモコン対応で、Philips RC5規格を使用しているApple IRリモコンやその他のユニバーサルリモコンでも使用することができます。

- OFF
- RC5
- Apple

11.1 Apple IRリモコンの設定

1. 「Remote」メニューが表示されるまでロータリーエンコーダノブを回し、本製品のフロントパネルにある左から3番目のボタンを押してメニューをアクティブにします
2. 「APPLE」オプションを選択します。左側に「Remote Addr」と表示されます
3. 本製品のフロントパネルにある左から4番目のボタンを押して "Remote Addr"メニューを起動します。メニューは青色でバックライトされている必要があります
4. Apple IRリモコンの中央の (Enter) ボタンを押します
5. 完了！ - リモコンのペアリングが終了しました

11.2 標準タイプ (RC5) のリモコンの設定

1. 「Remote」メニューが表示されるまでロータリーエンコーダノブを回し、本製品のフロントパネルにある左から3番目のボタンを押してメニューをアクティブにします
2. 「RC5」オプションを選択します。左側に「Remote Addr」と表示されます
3. 本製品のフロントパネルにある左から4番目のボタンを押して "Remote Addr"メニューを起動します。メニューは青色でバックライトされている必要があります
4. RC5規格準拠のリモコンのいずれかのボタンを押します。本製品が自動的に信号を検知します
5. 完了！ - リモコンのペアリングが終了しました

12. 仕様

アナログ

- アナログ出力端子：2 XLR balanced outputs、2 RCA unbalanced outputs
- D/A変換の解像度：PCM 32bit / DSD 256 (11.2 MHz)
- PCM サンプリング周波数：44.1 / 48 / 88.2 / 96 / 176.4 / 192 / 384 kHz
- ダイナミックレンジ: 130dB
- 出力インピーダンス: 75 Ohm
- ヘッドホンアンプ部: 500mA以上/6W、TRSヘッドホン端子2系統
- 内蔵アナログプリアンプ部: ラインレベル入力、フォノアンプ (M/M・M/C)、リレー切り替え式
- ハイカレント・高速応答型バランス設計

デジタル

- USB2.0：384kHzのデータストリームに対応、タイプB端子、ドライバー不要 (Mac、Linuxの場合)
- AES/EBUデジタル入力：最高192kHz/24bit、DSD64 (DoP)
- TOSLINK光デジタル入力：最高192kHz (シングルワイヤー)、DSD64 (DoP)
- S/PDIF同軸デジタル入力1、2：最高192kHz (シングルワイヤー)、DSD64 (DoP)
- SDIF3 入力：DSD64、DSD128、DSD256 (ネイティブ入力のみ対応)
- ワードクロック入出力
- 内部ジッター0.82psのMytek Femtoclockサーキット：マルチチャンネルDSDを含む、マルチチャンネル動作のためのワードクロック入出力を搭載

一般

- USBコントロールパネルによるファームウェア更新：ホームページから更新ファイル入手可能、定期的な機能アップデート
- 電源：内蔵スイッチング電源ユニット、100 - 240 V AC
- 外部電源ユニット：12V、4 - 6 A、コネクタ外径5.5 mm / 内径2.5 mm



- 外形寸法 [W x H x D]：218 x 44 x 206 mm / 1U ハーフラックサイズ
- 重量：1.6 kg
- 保証期間：2年間

13. 製品の保証

全ての本製品は、出荷前に包括的な品質管理と完全なテストを受けています。購入日から2年間、製造上の欠陥および製造に使用された材料に対し、Mytekは最初の購入者に対し、当該本製品の保証を行います。

お客様の誤用、不正改造、事故による故障は、本保証の対象外となります。明示的か黙示的かを問わず、他の一切の保証を行いません。お使いの製品に問題があると思われる場合は、製品を購入された販売店にお問い合わせください。

この保証が適用されない場合でも、現時点までに製造されたすべてのユニットに対して、Mytekは修理サービスを提供します。Mytek修理センターは、アメリカ合衆国、ニューヨーク市ブルックリンのMytek本社、ポーランド、ワルシャワ市 (Mytek EU Distribution Office) にあります。

安全に関する重要なお知らせ

- この説明書を読み、保管し、記述内容に従ってください。
- 本機の電源を入れる前に、すべての機器を接続してください。
- 本機を湿気、雨、液体にさらさないでください。
- 清掃する場合は、乾いた布のみご使用ください。
- 液体や異物が本機に混入した場合は、本機の電源を切り、電源からプラグを抜きます。異物を除去するか液体が完全に乾燥するまで、本機を操作しないでください。ご不明な点がございましたら、Mytek Digitalにご連絡ください。
- 換気口を塞がないでください。メーカーの指示に従って設置してください。
- ラジエータ、ヒーター、ストーブ、その他の熱を発生する機器（アンプを含む）など、熱源の近くには設置しないでください。
- 極性付き電源プラグまたはアース付き電源プラグの安全性を遵守してください。極性付きプラグには2つのブレードがあり、アース側が他方よりも広がっています。アース付きプラグには2つのブレードとアースピンがあります。この幅の広いブレードやアースピンは、安全のために用意されています。付属する電源ケーブルのプラグが壁コンセントに合わない場合は、古い壁コンセントを交換するために電気技師に相談してください。
- 電源ケーブルを踏んだり、電源プラグ、コンセント、および電源ケーブルが機器から出る箇所で挟んだりしないようにしてください。
- メーカーが指定する付属品/アクセサリのみを使用してください。
- 機器をカートに載せて動かす際には、カートが転倒して怪我をしないようにご注意ください。
- 雷雨や長期間使用しないときは、本機の電源コードを抜いてください。
- すべての保守サービスは資格のあるサービス担当者に依頼してください。電源ケーブルやプラグを破損した、液体をこぼした、異物が混入した、本機を雨や湿気にさらしてしまった、正常に動作しなくなった、本機を落下させてしまった場合など、本機が何らかの損傷を受けた場合には修理が必要です。

警告

スピーカーやヘッドホンから過大な音圧が出ると、聴力障害の原因となります。本機を安全にご使用いただくため、過度の音圧レベルで長時間のリスニングを行わないでください。

For the customers in the U.S.A. (アメリカ合衆国在住のお客様へ)

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class A digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference when the equipment is operated in a commercial environment. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instruction manual, may cause harmful interference to radio communications.

You are cautioned that any changes or modifications not expressly approved in this manual could void your authority to operate this equipment.

All interface cables used to connect peripherals must be shielded in order to comply with the limits for a digital device pursuant to Subpart B of Part 15 of FCC Rules.

This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:

(1) this device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

このCEマーキング製品は、欧州共同体委員会が発行したEMC指令に準拠しています。この指令の遵守は、以下の欧州規格への適合を意味します。

- EN55103-1：電磁障害（エミッション）
- EN55103-2：電磁感受性（イミュニティ）

この製品は、E1（住宅）、E2（商業および軽工業）、E3（都市の屋外）、E4（制御されたEMC環境、例えばTVスタジオ）の電磁環境での使用を目的としています。

家庭での電気及び電子機器の廃棄物の処分に関する情報

製品、説明書にこのマークが記載されている場合、寿命となった製品や付属品を一般ゴミと一緒に廃棄することはできません。適切な廃棄処理によって貴重な資源を節約し、人体に対して悪影響が生じることを防ぐことができます。

有害物質を適切に処分して製品をリサイクルするために、ユーザーは電気および電子機器廃棄物の回収に協力する義務があります。詳細については、地元の行政機関、廃棄物処理業者、または小売業者にお問い合わせください。



